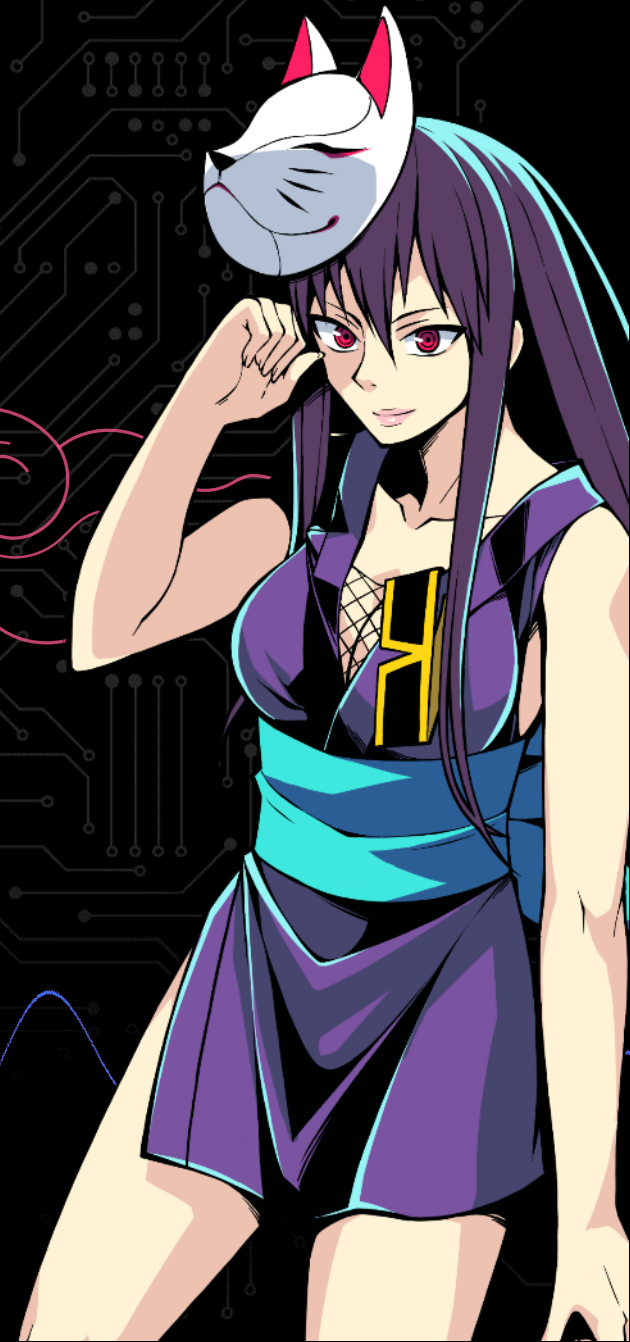


証券コード:4447
株式会社
ピー・ビーシステムズ
会社説明資料

UPDATE 2023/12/11



代表者のプロフィール

富田 和久（とみた かずひさ）

1963年7月17日生（60歳）

略歴

1982年3月 福岡県立福岡高等学校 卒業

1986年3月 九州大学 経済学部 経済工学科 卒業

1986年4月 野村コンピュータシステム(株)
(現(株)野村総合研究所)入社

1992年1月 (株)シティアスコム 入社

1997年2月 当社設立 代表取締役社長(現任)

[想い]

方法論の美しさよりも成功の美酒を願う。使う人が大好きになるような感性を込めた業務システム構築が願い。



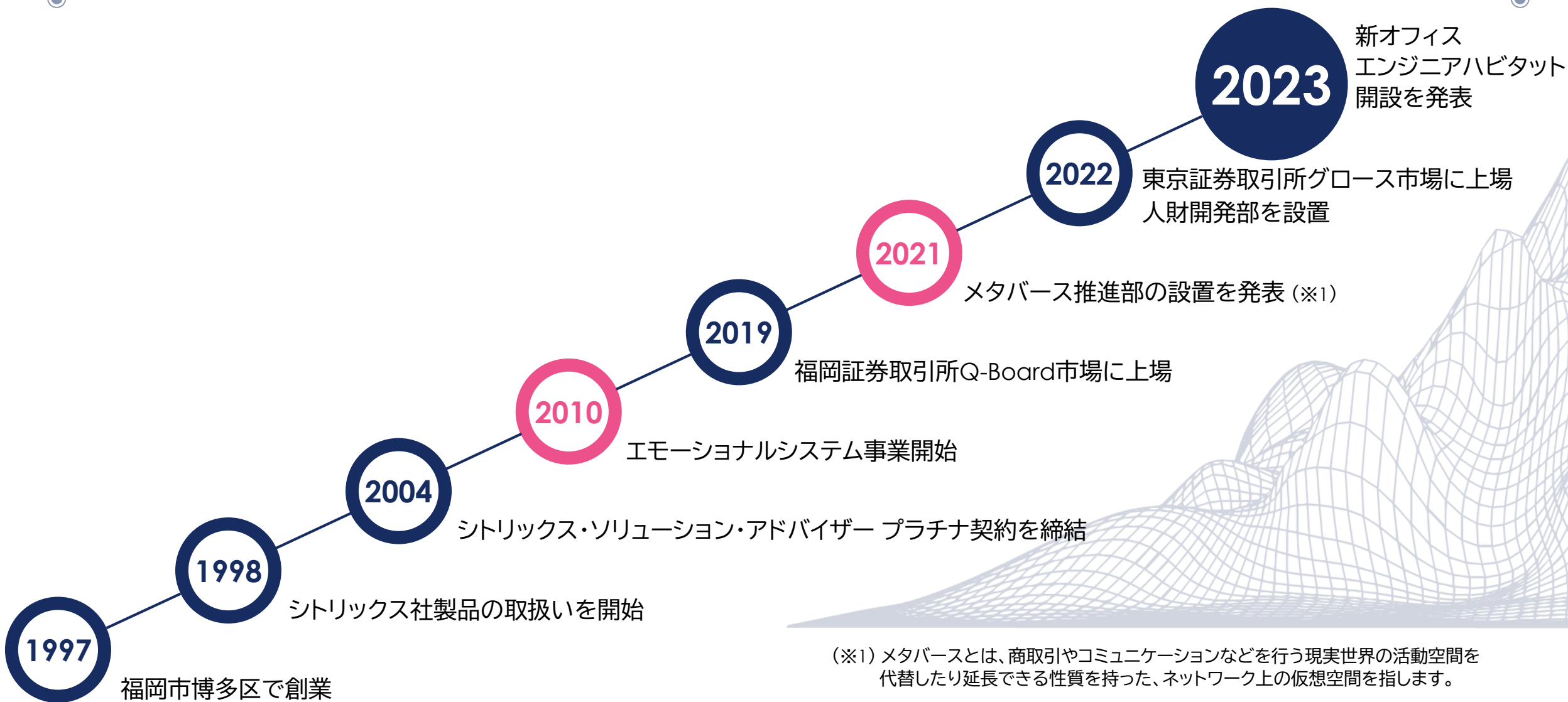
会社概要

社名	株式会社ピー・ビーシステムズ
社名の由来	Powerful and Beautiful － 力強く、美しいシステムを作ろう
設立	1997年2月 現在第28期1Q中
所在地	福岡市博多区東比恵3丁目3-24
資本金	3億5,026万円 (2023年9月末)
社員数	54人 (2023年9月末:取締役 / 監査役除く)
売上高	2,900百万円(2023年9月末)
上場区分	東京証券取引所グロース市場 福岡証券取引所Q-Board市場
銘柄コード	4447



全国の企業・自治体向けに各種情報システムを構築する福岡本社のシステムインテグレーター

沿革



(※1) メタバースとは、商取引やコミュニケーションなどを行う現実世界の活動空間を代替したり延長できる性質を持った、ネットワーク上の仮想空間を指します。

事業内容

システム仮想化技術に精通したクラウド基盤構築力が特長

セキュアクラウドシステム事業 (SCL)

- 創業以来追求している、クラウド基盤構築技術による基幹システムのクラウド化
- サイバー攻撃を防御し、システム障害時に早期復旧を実現するレジリエンスの強化



エモーショナルシステム事業 (EMO)

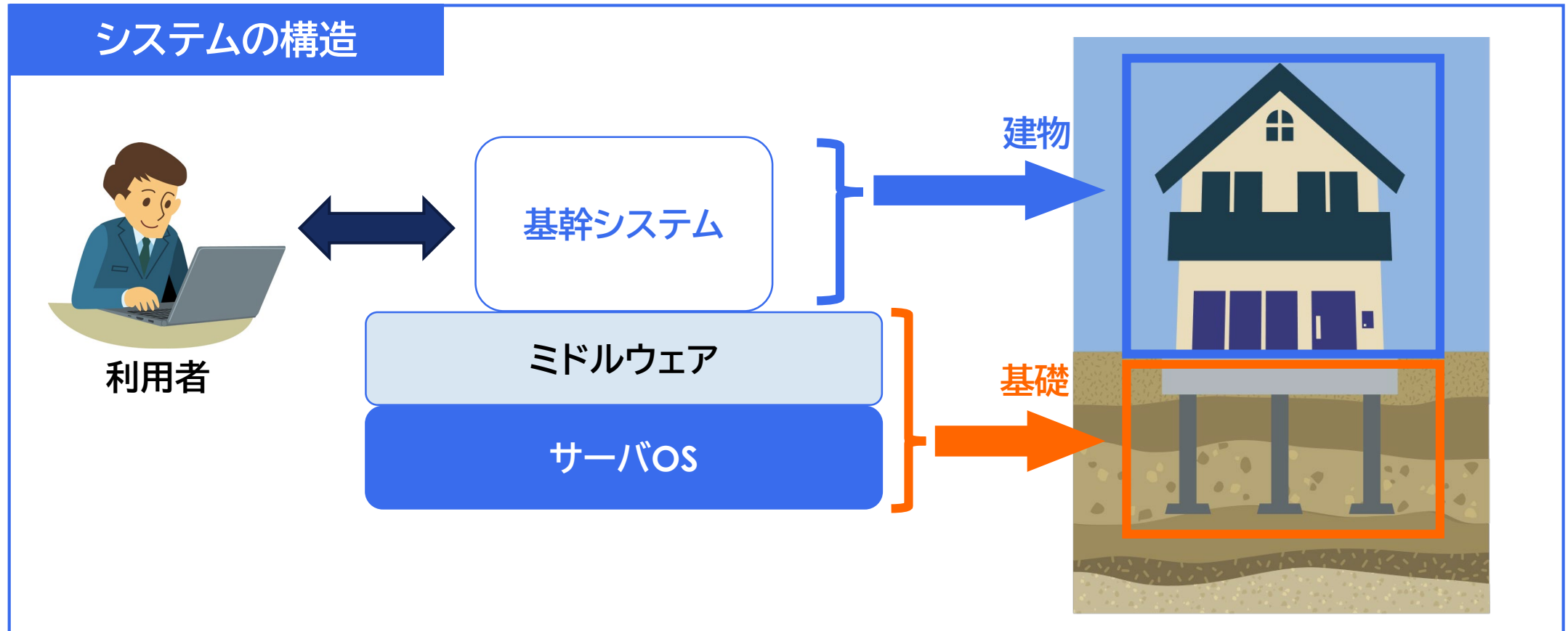
- 独自のVR装置 MetaWalkers® の技術開発、製造販売
- 企業や自治体のメタバース構築サポート



A nighttime cityscape featuring several prominent skyscrapers, including the Burj Khalifa on the right. The scene is overlaid with a semi-transparent diamond-shaped grid pattern. The overall color palette is dominated by blues and whites, with the city lights providing a warm glow.

セキュアクラウドシステム事業 (SCL)

SCL事業の内容（基幹システムのクラウド化）



システムを建物にたとえるなら、基幹システムは「建物」で、ミドルウェアとサーバOSは「基礎」にあたります。利用者が目にする基幹システムがしっかり動作するためには、しっかりした基礎が必要です。

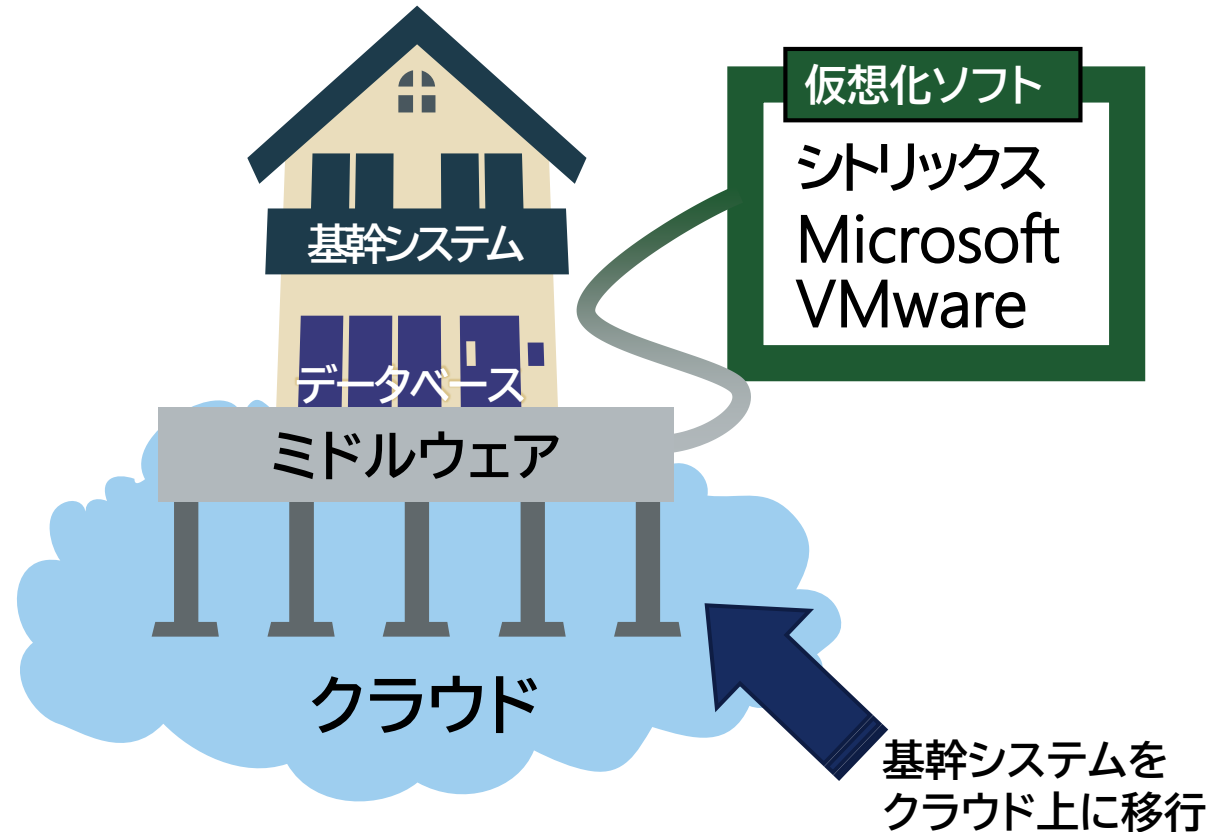
SCL事業の内容(基幹システムのクラウド化)

SCL事業がやっていることは？

企業や自治体が必要とする
クラウドの「基礎」を作ります

最適化したデータベースを、
「基礎」の上に作ります

基幹システムをクラウド上に
構築した環境へ移行します



基幹システムのクラウド化は、**基幹システムとクラウドの両方のノウハウが必要**な難しい仕事ですが、当社は長年のノウハウを保有しています
(基幹システム構築を1997年の創業時より、クラウド構築を1998年のシトリックス社製品の取扱い開始より、それぞれ現在まで継続中)

SCL事業の強み

先進IT企業とのパートナーシップを活かして、基幹システムのクラウド化を推進

シトリックス

Citrix Solution Advisor Platinum
 当社はシトリックス社の最上位パートナー
 シトリックス社の製品・サービスに関する
 国内トップレベルの技術力

P	Work space	App Delivery and Security	県名	会社名	E-mail	電話番号	技術資格					技術資格計	
							営業資格	Workspace					App Delivery and Security
								CCSP	Virtualization	Workspace	Cloud		
						CCSP 019	CCA-V, CCP-V, CCE-V, CC-Sharefile	CC-WMS	CC-VAD-CC, CC-VAD-MA	CCP-M, CC-CEM	CCA-AppDS, CCE-AppDS, CCP-AppDS, SD-WAN		
P	★	★	東京都	伊藤忠テクノソリューションズ株式会社	☐	☎	1	9	2	34	1	4 50	
P	★	★	福岡県	株式会社ビー・ビーシステムズ	☐	☎	10	24	0	4	1	5 34	
P	★		東京都	日鉄ソリューションズ株式会社	☐	☎	1	6	2	2	2	4 16	
P	★		東京都	株式会社アシスト	☐	☎	10	8	0	4	1	3 16	
P		★	東京都	株式会社インターネットイニシアティブ	☐	☎	2	9	0	2	0	5 16	
P	★		東京都	兼松エレクトロニクス株式会社	☐	☎	2	9	0	2	1	0 12	
P	★		東京都	日本ビジネスシステムズ株式会社	☐	☎	1	4	0	2	1	2 9	
P			神奈川県	東芝デジタルソリューションズ株式会社	☐	☎	1	8	0	6	0	2 16	
P			大阪府	パナソニックインフォメーションシステムズ株式会社	☐	☎	4	7	0	2	1	3 13	

Citrix Japan Partner Award 受賞多数
 (2013年/2014年/2016年/2017年/2019年/2020年/2021年)

ビッグパートナーとの連携

DELL TECHNOLOGIES

GOLD SOLUTION PROVIDER

マイクロソフト

Microsoft Partner

オラクル

Oracle Partner

VMware

パートナーエリアコンテスト
 通算5回受賞、殿堂入り

cybereason

Select Partner

SCL事業の内容(レジリエンスの強化)

情報システムの防御の仕組みを構築

- 利用者の認証強化や、通信の暗号化など、会社の内外から安全に基幹システムを利用する仕組みを構築し、不正アクセスなどのサイバー攻撃からシステムを防御

情報システムの回復の仕組みを構築

- システム障害から回復して業務を復旧する仕組みを構築し、サイバー攻撃や災害、オペレーションミスなどによる業務の停止を最小限に抑止



(※1)EDRは、パソコンやサーバ(Endpoint)の不審な挙動を検知(Detection)することで、不正アクセスなどのサイバー攻撃に対する迅速な対処(Response)をサポートする仕組み

SCL事業の需要(基幹システムのクラウド化)

基幹システムのクラウド化需要

クラウドは様々な利点から急速に浸透しましたが、基幹システムでのクラウド利用企業は10%台と少ないのが実情

基幹システムのクラウド化は、
旺盛な需要が見込める
ブルーオーシャン

企業が利用しているクラウドサービスの内容(複数回答)



生産管理などのいわゆる基幹システムや、不正アクセスを防ぐ認証システムにクラウドサービスを導入している企業は10%台と低水準

基幹システムのクラウド化が本格化するのこれから！

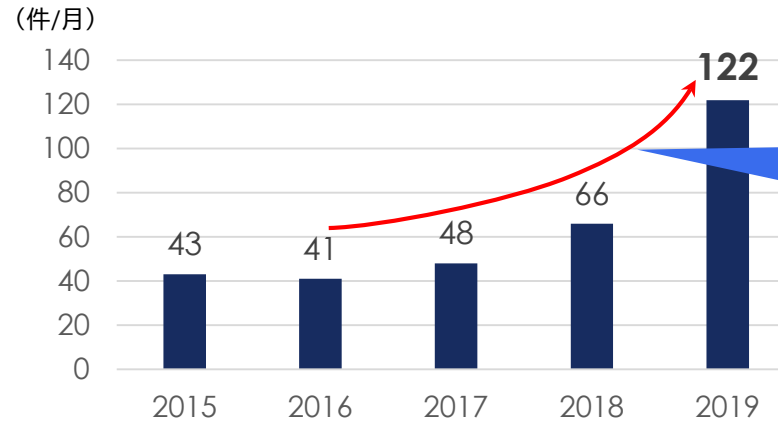
SCL事業の需要(レジリエンスの強化)

レジリエンスの強化需要

- ・システム障害やサイバー攻撃の被害は近年頻発、社会問題化
- ・国策として、金融庁が障害復旧の早期化など、金融機関のレジリエンス強化を推進中(※1)

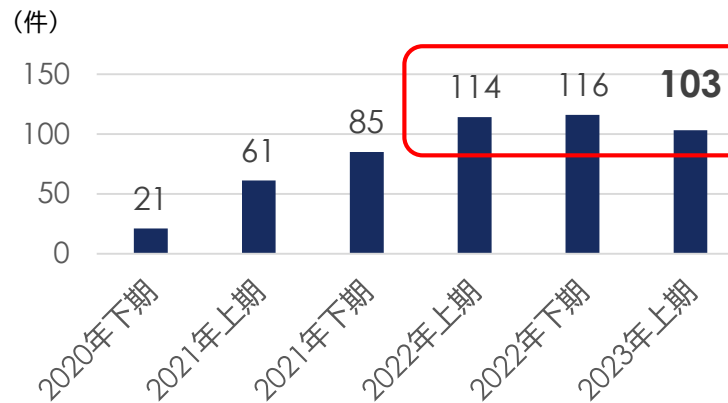
社会問題化し国策として推進されているレジリエンス強化は、活発な需要が期待される

報道された情報システムの障害発生件数の推移(※2)



情報システムの月間障害発生件数は増加

企業・団体等におけるランサムウェア被害の報告件数の推移(※3)



サイバー攻撃のランサムウェア被害報告件数は半年間に100件以上の高水準で推移

(※1) 出典:「金融機関のシステム障害に関する分析レポート」(2023年6月 金融庁) URL <https://www.fsa.go.jp/news/r4/sonota/20230630-2/01.pdf> P.1

(※2) 出典:「<情報システムの障害データ>情報システムの障害状況2019年後半データ」(2020年2月 独立行政法人 情報処理推進機構) URL <https://www.ipa.go.jp/archive/files/000080333.pdf> P.1
独立行政法人 情報処理推進機構による「情報システムの障害状況」事業は事業終了のため2019年後半データが最終版となっています

(※3) 出典:「令和5年上半期におけるサイバー空間をめぐる脅威の情勢等について」警察庁(2023年9月21日) URL https://www.npa.go.jp/publications/statistics/cybersecurity/data/R05_kami_cyber_jousei.pdf P.19

SCL事業の成長戦略

人財採用・育成

「エンジニアハビタット」

新オフィス「エンジニアハビタット」(480㎡)を福岡市内に開設(2024年2Q予定)

2026年9月期までに当社全体の社員数を100人超(※1)の体制に拡大予定

セールスエンジニアとエンジニアが集い、新たな技と知恵を生み出す、いわばエンジニアの生態系を構築し、技術力とビジネス感覚を兼ね備えた次世代の人財を育成

- **新卒採用の拡大**
25年卒は24年卒採用数から倍増の計画
- **社内教育制度構築**
エンジニアが選んだ最新技術検証機材を導入、実機検証とOJT、資格手当制度を連携した人財育成の仕組みを整備

首都圏受注拡大

- SaaSとAIの需要増に対応
需要旺盛な首都圏のSaaS事業者やAI事業者に対して、迅速な障害回復とサイバー攻撃防御の仕組みを備えたプライベートクラウドの構築サービスを提供
- **東京営業部の増員と営業拠点開設**
採用活動を継続し、人員拡充にあわせて都内に営業拠点を開設予定(時期は2024年9月期中を想定)
- **九州進出需要対応**
半導体のサプライチェーン企業等、首都圏に本社を置く製造業の九州進出を、製造業向け先進的VDI(仮想デスクトップ)の構築サービス等で支援し、受注を拡大

商品販売の利益向上

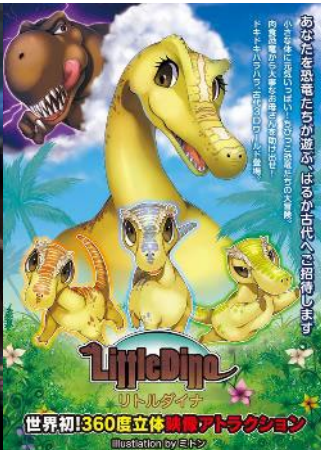
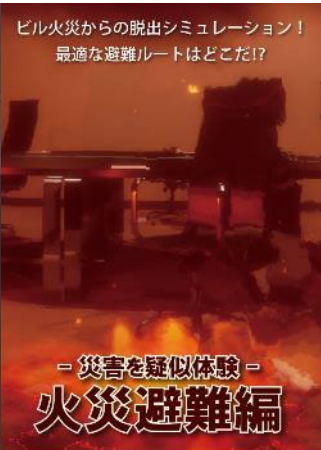
- **企業の2025年の崖** 需要対応
老朽化した基幹システムの刷新需要にプライベートクラウド基盤構築の卓越した技術力で対応し、販売するハードウェア、ソフトウェアの付加価値を向上
- **必須のレジリエンス**
企業や公共団体の情報システムをサイバー攻撃や災害による障害から迅速に回復するレジリエンス(防御と回復の仕組み)の販売を拡大
- **大型プロジェクトの実行体制強化**
エンジニア確保と有力協力会社の開拓を進めて大型プロジェクトへの対応を強化、案件に付随する高付加価値ハードウェアとソフトウェアの受注を拡大

(※1)派遣社員も含めた全社員数(取締役、監査役を除く)

エモーショナルシステム事業 (EMO)

EMO事業の強み

360度3D仮想空間のコンテンツ制作による豊富な実績とノウハウを強みに、
社会貢献ビジネスやメタバース等の領域へ展開



MetaWalkers® を軸とした
防災・社会貢献系ビジネスへの展開

メタバース等の新たな
仮想空間系ビジネスへの展開

EMO事業の内容(MetaWalkers®)

「デジタルワークを躍動させる映像テクノロジー」

360度スクリーンに3D映像を切れ目なく表示する特許をもとにした、没入感の高いVR空間を生み出す MetaWalkers® (※1)の製造販売レンタルを中心とする事業

MetaWalkers® の利用分野

- 3DCGによる短編アニメーションを上映する装置として遊園地やアミューズメント施設への販売
- 実写360度映像上映装置として、お祭りや花火大会
- 文化歴史建造物や風景
- 事故・災害状況の映像再現による安全対策
- 工場見学・各種教育への活用
- 大学等研究機関のスポーツ科学研究/分析

(※1) 2023年1月16日より、製品名を4DOHからMetaWalkers®に変更しました。
MetaWalkers®の名称及びロゴは株式会社ピー・ビーシステムズの登録商標です。

MetaWalkers®

全周360度スクリーン
圧倒的な情報量!!



全周3D映像で
あたかもその場に
いるような感覚!!

エアガン、サラウンド音響
床の振動
最高の臨場感!!

多人数で視聴可能
感動を共有!!

建物や風景、3Dキャラなど空間にあるものが観客のすぐ横を通り後方へ
その空間を移動しているような感覚!!

EMO事業の内容(防災・社会貢献系ビジネスへの展開)

報道関係者各位
プレスリリース



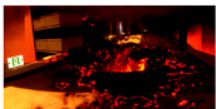
2022年2月18日

とつか減災フェア「防災 4Dシアター」出展レポート

株式会社ピー・ピー・システムズ(福岡県福岡市、代表取締役社長長富田和久、以下、弊社)は2020年2月9日、弊社が製造販売する、多数の人が同時にVRを体験できる装置「4D王」を、株式会社建屋(本社:東京都新宿区、代表取締役社長 猪坂 猛、証券コード 8226 以下、建屋)と田中電気株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長 田中 良一、以下、田中電気)と共同で、横浜市戸塚区主催の防災イベント「とつか減災フェア」に出展いたしました。大盛況に終わったこのイベントの内容をご報告いたします。



「4D王」の様子



「火災避難編」の一部画像



「豪雨災害編」の一部画像

当日は、多くの地域住民の方々や防災関係者の方々に、「4D王」の360度空間から自由に迫り来る立体映像と地震、揺動、空気圧による災害表現がミックスされた、あたかも火災・水害の現場に居るかのようなバーチャルリアリティをご体験いただきました。

今回、防災4Dシアターとして使用した装置は「4D王」のラインアップの中でも小型機にあたる16人型ですが、2月9日の1日間で33回を上映し、約530名の方々にリアルな火災と水害を疑似体験して頂きました。「4D王」を視聴いただいた皆様から、自身の命を守る防災という課題に向き合った今回の体験について、興味と共感の感想を弊社現地スタッフが多数いただきましたので、その一部をご紹介します。

とつか減災フェア「防災 4D シアター」出展レポート
(2020年2月18日 PR情報)

プレスリリース

各位



2022年3月7日

BOAT RACE 若松にて「4DOH」イベント キッズチャレンジワールド 開催のお知らせ

企業のDXからメタバースへの展開に向けて事業拡大中の株式会社ピー・ピー・システムズ(福岡県福岡市、代表取締役社長: 富田和久、以下、当社)は、北九州市が運営するBOAT RACE 若松において、家族連れ層などの集客と新たなファン層の来場促進のために、当社が製造販売する、多数の人が同時にVR(仮想現実)を体験できる装置「4DOH」を活用し、リアルとバーチャルをミックスしたイベント「キッズチャレンジワールド」を2022年3月19日から5月15日まで開催することをお知らせいたします。BOAT RACE 若松の「キッズチャレンジワールド」の開催は会場に2かあるボートレース場の中で初めて4DOHを展開するイベントの実施となります。

「キッズチャレンジワールド」は、ボートレース場として全国で初めて設置された「ボルドー公園RedRock」や、ボートレースの体験をテーマにした参加型VRアトラクションである「ボートレースVRスプラッシュバトル」など、BOAT RACE 若松のファミリー向けパーク化施設と「4DOH」のコラボレーションにより、お子様はもちろん大人まで楽しめる複合型のイベントです。

福岡でお馴染みの気象予報士 佐藤崇平さんを用いた防災講座や、4DOHの体験型防災VRコンテンツの上映といった、子供たちが楽しみながら防災を学べる「防災イベント」、ドローンレーシングチーム JAPRADARによるドローン体験会など、ご来場で遊び学びある、リアルとバーチャルを融合させた面白いイベントとなります。



「キッズチャレンジワールド」の告知ポスター

「キッズチャレンジワールド」の最新情報は、こちらのURLよりご覧いただけます!
<https://4doh.info/kidschallenge/>

BOAT RACE 若松にて「4DOH」イベントキッズチャレンジワールド 開催のお知らせ
(2022年3月7日 PR情報)

プレスリリース

各位



2022年10月14日

緑十字展2022 in 福岡 360°VRシアター「LookCa」(4DOH)での 事故体験・安全教育 VR 上映決定のお知らせ

企業のDXからメタバースへの展開に向けて事業拡大中の株式会社ピー・ピー・システムズ(福岡県福岡市、代表取締役社長: 富田和久、以下、当社)は、株式会社つくし工房(東京都板橋区、代表取締役: 藤野隆生、以下、つくし工房)が出展する緑十字展2022 in 福岡において、当社が製造販売する、多数の人が同時にVR(仮想現実)を体験できる装置「4DOH」を活用し、360°VRシアター「LookCa(ルッカ)」(4DOH)としてご来場の皆様にご体験いただけることとなりましたので、お知らせいたします。

つくし工房ブースの360°VRシアター「LookCa(ルッカ)」(4DOH)では、墮落事故、重機脱線事故、浴槽火災災害、工事規制帯への衝突災害、クレーン横転災害や実写の交通事故体験装置に加え、実写+CGによる水害のコンテンツ等、様々な事故状況・安全教育の疑似体験が可能です。

これらのコンテンツは、工事現場災害・事故等の事例をリアルに再現するだけでなく、被災者目線の疑似体験が可能であるため、災害・事故の防止と意識が異なります。また、実写とCGを組み合わせることで、よりリアルな防災コンテンツとなっています。

当社は本事例を通して、今後つくし工房との相互協力のもと、4DOHの安全教育用体験装置としての有用性を探求していきます。

■イベント概要

イベント名	緑十字展2022 in福岡
開催場所	マリノアメッセ福岡A館(福岡県福岡市博多区沖浜町7-1)
開催日時	10月19日(水) 午前10時~午後5時30分 10月20日(木) 午前9時~午後5時30分 10月21日(金) 午前9時~午後3時
体験施設	360°VRシアター「LookCa」(4DOH) ・設置/解体が短時間で可能な超小型4DOHATOMを採用(5名タイプ) ・超小型でも4DOHの特長である圧倒的な没入感を得ることが可能
イベントWebサイト	https://www.nep-sec.jp/gcc2022/

緑十字展2022 in 福岡 360°VRシアター「LookCa」(4DOH)での事故体験・安全教育VR上映決定のお知らせ
(2022年10月14日 PR情報)

プレスリリース

各位



2023年11月28日

北九州市防災フェスタ2023にMetaWalkers® 出展のお知らせ

企業のDXからメタバースへの展開に向けて事業拡大中の株式会社ピー・ピー・システムズ(福岡県福岡市、代表取締役社長: 富田和久、証券コード 4447 以下、当社)は、北九州市が主催する防災イベント「北九州市防災フェスタ2023」(12月17日(日)開催予定)にMetaWalkers®を出展することをお知らせいたします。

北九州市防災フェスタ2023は北九州市が市民の皆様へ「過去の災害の教訓を次世代へつなぐ」、「各種災害を見据えた準備の大切さへの理解促進」、「防災を身近に感じ、自分事として捉えてもらう」を目的に、防災に携わる様々な企業・団体と協力して開催する防災イベントです。



MetaWalkers®を活用した防災教育を推進中の当社は北九州市防災フェスタ2023において、MetaWalkers®を活用した体験型の防災VR展示を行います。ご来場のお客様には、360度自由に切り取れない自然な3D映像表現で災害を疑似体験いただき、災害現場に入り込んだような感覚に生まれながら防災について楽しみ、学習できる場を提供する予定です。当日の体験型防災学習コーナーではMetaWalkers®を無料でご体験いただけます。この機会にぜひ皆様お誘いあわせの上ご来場ください。お待ちしております。

当社は今後もMetaWalkers®がVRの防災教育や災害シミュレーションにおける理想的空間の表現装置として事業者様にご活用いただけるよう、普及に努めてまいります。

北九州市防災フェスタ2023にMetaWalkers® 出展のお知らせ
(2023年11月28日 PR情報)

EMO事業の成長戦略(MetaWalkers®)

MetaWalkers®の販売拡大に向けた戦略

民間需要

- 遊園地・テーマパーク等、回復基調の国内レジャー需要向けの販路拡大

販売代理店と協業し、遊園地向け人気アトラクションとのタイアップコンテンツによるMetaWalkers®販売を推進



2023年9月期 実施例

国営ひたち海浜公園
プレジャーガーデン
「ハムスタンの4D・
シアター」オープンの
お知らせ

2023年8月10日PR情報

(※1)「防災コンソーシアム CORE」加入のお知らせ 2023年8月31日 PR情報

公共需要

- 自治体の観光施設、記念館等へのMetaWalkers®販売拡大

国内観光需要の回復、インバウンド人口の回復を捉え、自治体の観光需要、地域活性化政策に沿ったMetaWalkers®の提案営業を推進



2023年9月期 実施例
三次もののけミュージアムイベント
(2023年7月15日～8月26日 広島県三次市)

ESG需要

- 高齢化社会の拡大するシニア需要に対応するMetaWalkers®の開発

シニアの健康寿命をサポートするeXrスポーツシステムの研究開発、実証実験に向けた産学連携を推進

- 国土強靱化計画の国策に伴うVR需要に対応

MetaWalkers®を活用した防災教育、災害シミュレーション分野の受注を推進

防災業界団体への加盟(※1)を契機に協業体制と販路の構築を推進

EMO事業の成長戦略(企業向けメタバース)

企業向けメタバース体験サイトの開設

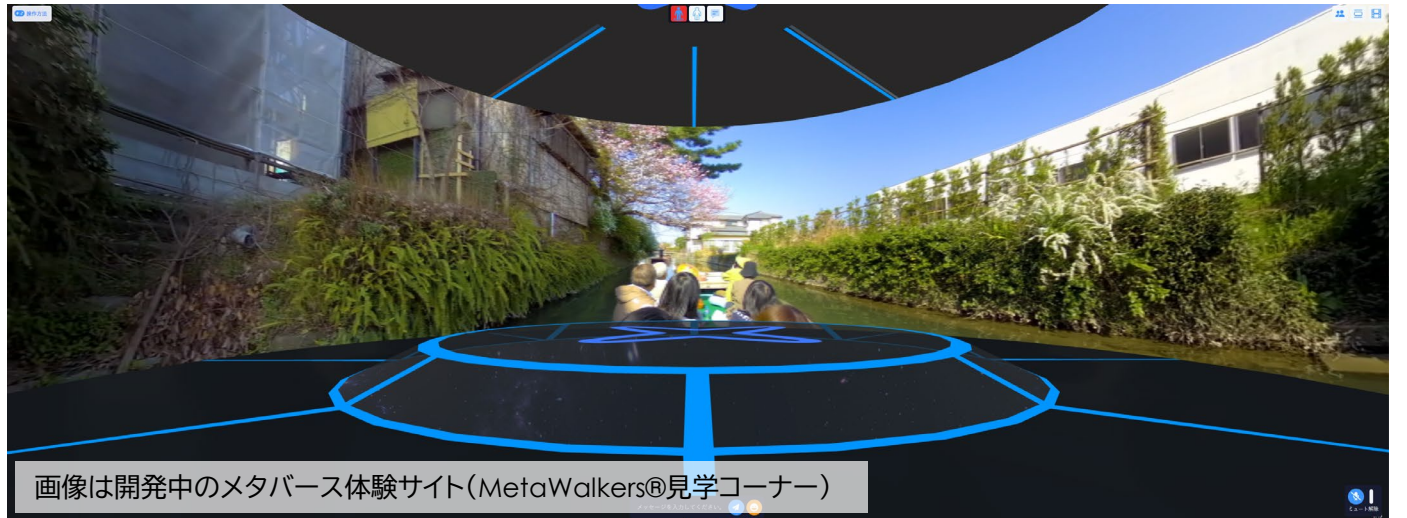
- 「企業向けのメタバース体験サイト」を2023年12月中に開設予定
企業向けメタバースの新規顧客との接点を拡大し、企業向けメタバースの受注拡大へ
- メタバース内にMetaWalkers®を疑似体験できる見学コーナーを設置予定
- Pedy(※1) によるクーポン、チケットを利用した、メタバース内の流通サービスも体験可能となる予定



画像は開発中のメタバース体験サイト(クーポン利用場面)



画像は開発中のメタバース体験サイト



画像は開発中のメタバース体験サイト(MetaWalkers®見学コーナー)

(※1)Pedyは、仮想通貨やNFTに依存せず、所有権およびその正当性が証明可能な流通システムです。Pedyは株式会社パッセルインテグレーションの登録商標です。

業績と事業計画

2023年9月期の業績

過去最高売上更新 & 5期連続最高益更新！

売上高

2,900百万円

前年同期比 +15.9% ↑

営業利益

301百万円

前年同期比 +11.6% ↑

経常利益

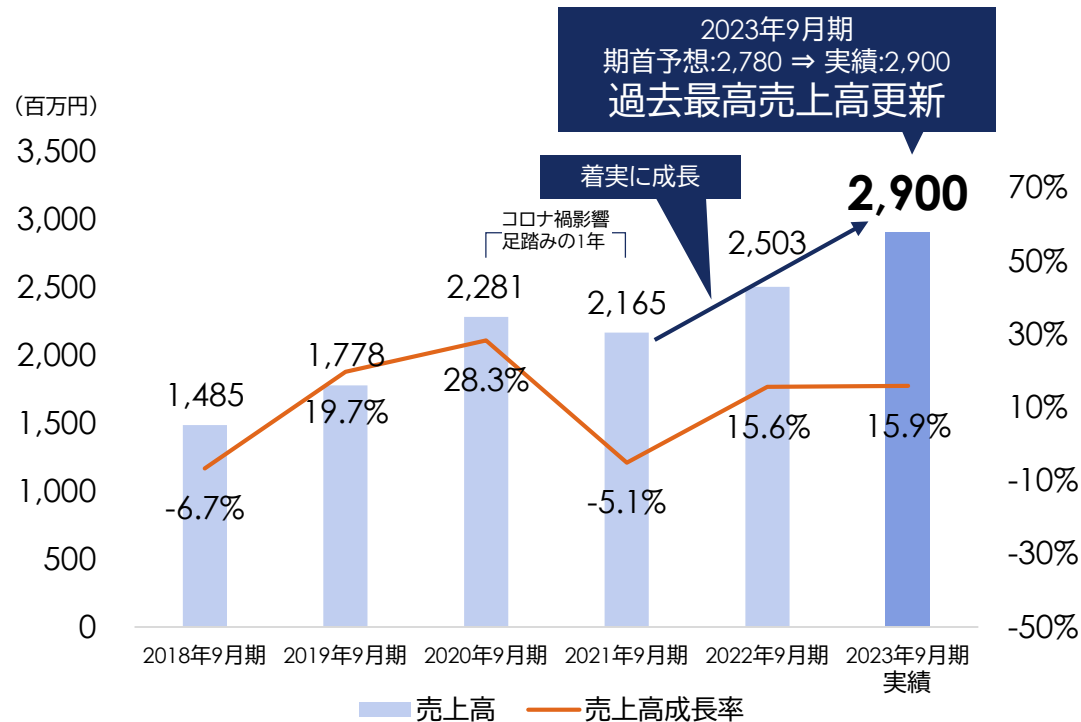
295百万円

前年同期比 +12.7% ↑

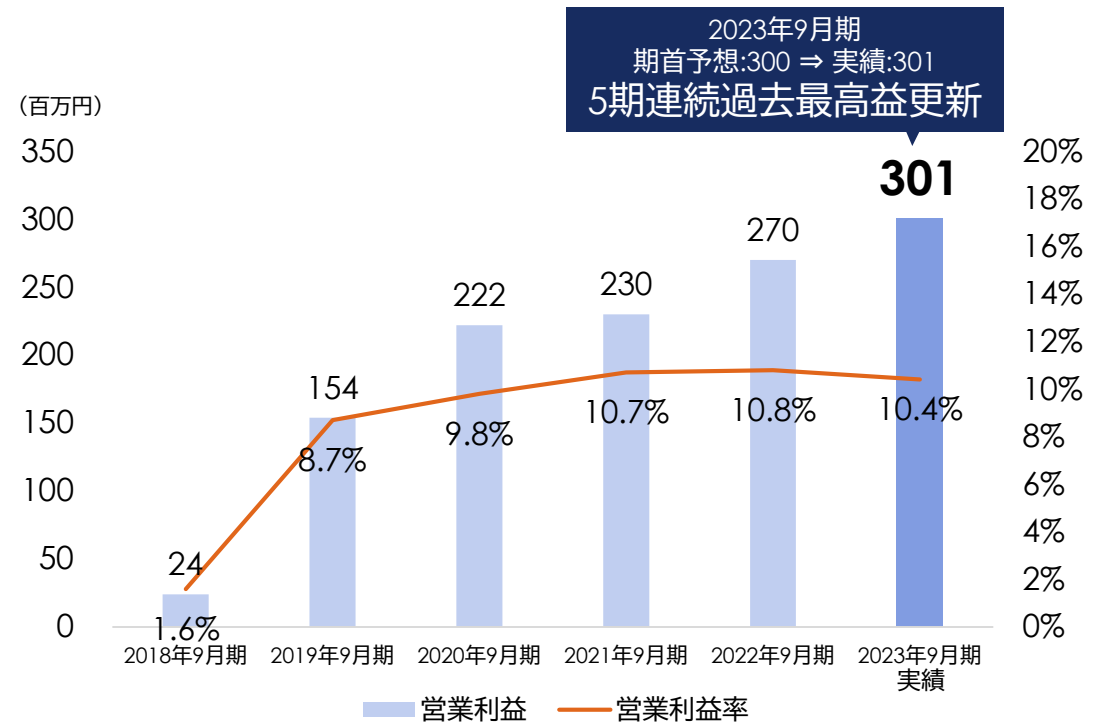
業績推移

売上高は着実に成長、営業利益は5期連続最高益を更新

売上高推移



営業利益推移



当社は2022年9月期の期首より新基準(「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日))を適用しておりますが、2021年9月期以前の実績については新基準を遡及して算出していないため旧基準の数値を記載しております。(2021年9月期以前の実績は2022年9月期以降の実績と会計処理が異なります)

2018年9月期～2021年9月期の売上高、営業利益は旧基準、2022年9月期からは新基準を適用した数値を記載しております。

株価推移

株価(※1)	単元株数	必要投資金額	市場
580円	100	58,000円	福証Q-Board、 東証グロース(※2)



- (※1) 株価は2023年12月8日の東証グロース市場の終値を記載しています
- (※2) 当社は2022年10月6日に東証グロース市場に重複上場しました
重複上場日以降の株価および必要投資金額は東証グロース市場の終値を基に掲載しています
- (※3) 当社は普通株式1株につき2株の割合での株式分割を、2020年1月1日付と2020年7月1日付の2回、実施しています
それぞれの株式分割日以前のグラフは遡及修正して掲載しています

2024年9月期 計画

(百万円)

	売上高	営業利益 (営業利益率)	経常利益 (経常利益率)	当期純利益 (当期純利益率)
通期予想 (対売上比率)	3,200	347 (10.8%)	346 (10.8%)	237 (7.4%)
前年同期比	110.3%	115.1%	117.0%	115.3%

規模拡大に舵を切るファーストステップとなる1年

- 人財増強、新拠点開設等の大幅な費用増をこなし、増収増益計画、6期連続最高益更新へ
- 従業員数(※1)25%増加計画、2023年9月末:54人から2024年9月末:68人へ
- SCL事業は技術開発拠点「エンジニアハビタット」(※2)を新設しエンジニアとセールスエンジニアを集約、ビジネス感覚を備えた高スキル技術者を育成へ
- 東京営業部の営業拠点を都内に開設し、首都圏顧客の更なる獲得へ
- EMO事業はMetaWalkers®と企業向けメタバースの2本柱で売上と営業利益を成長軌道へ

(※1) 人数は取締役、監査役、派遣社員を除いた数値を記載

(※2) エンジニアハビタットについてはP.12に説明を記載



株主施策

情報発信と株主還元の方針等

株式分割

2020年1月1日と2020年7月1日に株式分割を実行し、流動性の向上及び投資家層の拡大を図っています。

株主優待

2020年9月期に株主優待制度を導入しました。2023年9月期の株主優待は特製カレンダー1冊、保有株式数に応じた金額のQUOカード1枚(500株以上の株主様が対象)、抽選で50名様に当たるQUOカード4枚セット(合計2万円分)です。

自社株買い

2021年3月18日と2023年09月13日に自己株式の取得を発表し、資本効率の向上を通じた株主の皆様への利益還元、および経営環境に応じた機動的な資本政策の遂行を図っています。

投資環境

投資家の皆様がより投資しやすい環境を整えるため、当社は2022年10月6日に東京証券取引所グロース市場へ重複上場し、投資家層の更なる拡大を図っています。

配当方針

当社は株主に対する利益還元を重要な経営課題の一つに位置づけています。現在、配当の時期は未定ですが、配当のタイミングと金額は常に検討しています。

免責事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。

これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招来し得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

本資料の作成に当たり、当社は当社が入手可能な情報の正確性や完全性に依拠し、前提としていますが、その正確性あるいは完全性について、当社は何ら表明及び保証するものではありません。

また、発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれている場合がありますが、これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社として、その達成を約束するものではありません。

当該予想と実際の業績の間には、経済状況の変化や顧客のニーズ及びユーザーの嗜好の変化、他社との競合、法規制の変更等、今後のさまざまな要因によって、大きく差異が発生する可能性があります。

本資料に関するお問い合わせ



〒812-0007 福岡市博多区東比恵3-3-24
株式会社ピー・ビーシステムズ
経営企画部 IR担当

TEL 092-481-5669

MAIL ir@pbsystems.co.jp

URL <https://www.pbsystems.co.jp>